

## 「小さい植物を描く会」へのお誘い

NHK 文化センター 土曜教室のみなさまをはじめ、尾形教室のみなさまには、展覧会などでお目にかかったり、お世話になったことも多々あったと存じます。

尾形先生のもとで植物画に取り組んでおられるみなさまがたに、お知らせとお誘いです。

このたび、神戸市須磨区に「KOBEらぼ♪Polka」という小さな文化施設を開設いたしました。板宿駅から徒歩5分、新長田駅から徒歩12分のところです。

2階は理科の実験室になっており、学校で使うような顕微鏡が8台と、双眼実体顕微鏡が8台あります。「双眼実体顕微鏡」は尾形先生も観察時に愛用しておられるように、両目で見て観察物の立体感を保ったまま拡大して観察できる顕微鏡です。らぼポルカの双眼実体顕微鏡は10倍から30倍まで連続して拡大観察することができるズーム式で、調光装置もついており、適切な倍率、光量で観察できます。老眼も気にすることなく楽に見ることができます。

らぼポルカでは、尾形先生の教室に通っておられる方に限定して、このような顕微鏡を使って小さな野の花や植物の細部を観察する「小さい植物を描く会」への参加を募集いたします。

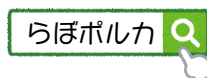
B-2	毎月第2火曜	14:00~16:00	定員8名	3ヶ月 6500円(税込)	4/10~
B-3	毎月第3火曜	10:00~12:00	定員8名	3ヶ月 6500円(税込)	4/17~

お申し込みは

メール：ホームページのメールフォームから

電話：080-8529-6417（こうべらぼポルカ 薄井）

直接：薄井と会える方は直接でもお受けいたします。



ホームページ



初回体験は1回に限り2000円、体験後に継続参加をお決めになった場合には、いただいた額を3ヶ月会費に充当いたします。また、2回目以降、1回のみ単発での参加は2500円です。



尾形教室のみなさまに限定するのは、この会が「描く方法の指導」を受ける会ではなく、くわしく観察し、新しい発見をして、さらに、描く楽しみを広げていただける会を目指しているからです。いつも、虫めがねなどを使ってよく観察して描いておられる方が多いと思いますし、教室で先生から植物のつくりや細かい特徴について説明があるときには、みなさん集まって興味津々でのぞき込んでおられます。その延長にある会として、すでに、植物画を描いておられる方を募集いたします。

会には絵の指導者はありません。実体顕微鏡の使用法や適切な観察方法については、アドバイスいたします。また、観察している植物の細部の特徴や性質について、学ぶことができます。

1回 2時間、ハガキ大～B5程度のあまり大きくない紙に、比較的短い時間で描ききることを考えておりますが、それぞれのペースやご希望でできるよう、柔軟に対応いたします。材料もご希望のものを持ち込んでいただけますが、毎回、季節に応じて、興味深い材料をいくらか用意して、観察することもできるようにいたします。

紙や絵の具、画板など画材・用具の販売はありません。各自でご準備ください。

みなさまのご参加をお待ち申し上げております。

